

## エフォート基準(全畜種共通)

カテゴリー	項目	基準
健康管理	観察・記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日1回以上の観察を行っているか</li> <li>・飼養管理に関する記録を毎日つけているか</li> </ul>
	家畜の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要なストレスやケガを負うような手荒な扱いをしていないか</li> <li>・不要なストレスを与える突発的な行動は起こさないようにしているか</li> </ul>
	病気・事故等の措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病畜は迅速に隔離し、適切な治療を行っているか</li> </ul>
栄養	給水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な量の新鮮な水が常時飲水可能か</li> </ul>
	給餌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日1回以上必要な栄養を含んだ飼料を給与しているか</li> </ul>
	BCS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・極端に削瘦、過肥の個体が飼養頭数の20%以上いないか</li> </ul>
環境	温度・湿度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜種毎に最適な温度・湿度に保たれているか</li> </ul>
	暑熱・寒冷対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの畜種に適した対策を行っているか</li> <li>・屋外環境を提供している場合は、庇陰場所を確保しているか</li> </ul>
	消毒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼養衛生管理基準に沿った対応が行われているか</li> </ul>
	清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体がふん尿等で汚れていないか</li> </ul>
	換気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンモニア濃度25ppm以下であるか</li> </ul>
行動	逃避行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼養者が近づいた際に、家畜がパニックにならないような飼養管理を行っているか</li> </ul>
	敵対行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敵対行動が頻繁に起こらないような管理を行っているか</li> </ul>
環境への配慮	家畜排せつ物の処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜排せつ物を適正に処理し、利用の促進を図っているか</li> </ul>

# 乳用牛(アチーブメント基準)

項目	繋ぎ飼い	放し飼い	判断基準・備考
飼養面積	1頭あたり1.8㎡以上	1頭あたり4.0㎡以上	
飼育環境	清潔で乾燥し、滑るような床ではないか 滑り止め防止の工夫がなされているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・股関節脱臼等の事故は発生していないか</li> <li>・コンクリート床に滑り止め防止の溝切やスリップ防止のゴムマットを敷くなどしているか</li> </ul>
牛床	困難なく起立・横臥・身繕いが できる方法で繋がれているか	全頭同時に利用可能な牛床数 が確保されているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウトレナーは立位状態の背中から5cm以上離れているか</li> </ul>
分娩房	床が平面で乾燥・清潔な分娩房を用意しているか 1頭あたり10㎡確保しているか		
運動	放牧場等にて、毎日運動できるか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外パドック含む</li> <li>・家畜伝染病発生状況や天候等により行えない場合は除く</li> </ul>
体の状態	酷い外傷等は見られないか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外皮に傷、擦りむけ、タコ、出血、化膿がみられないか</li> <li>・関節に腫れは見られないか</li> <li>・定期的な削蹄の実施により跛行や蹄病はみられないか</li> </ul>
異常行動の発現	群全体の20%以上で、正常行動から逸脱した行動がみられないか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬座、舌遊び、異物なめ、熊癖等はみられないか</li> </ul>
エンリッチメント 資材の導入	カウブラシの設置又は定期的なブラッシングを行っているか		
除角	2ヶ月齢以上で実施する場合は、 麻酔の使用等により苦痛を与えない方法で行っているか		
断尾	禁止		

# 肉用牛(アチーブメント基準)

項目	肥育	繁殖	判断基準・備考
飼養面積	1頭(成体340kg以上) あたり5.0㎡以上	1頭あたり3.6㎡以上	
飼育環境	清潔で乾燥し、滑るような床ではないか 滑り止め防止の工夫がなされているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>股関節脱臼等の事故は発生していないか</li> <li>コンクリート床に滑り止め防止の溝切やスリップ防止のゴムマットを敷くなどしているか</li> </ul>
栄養	適切なビタミンAコントロールができていないか		<ul style="list-style-type: none"> <li>ビタミンA欠乏症がみられないか</li> </ul>
分娩房		床が平面で乾燥・清潔な分娩房を用意しているか 1頭あたり10㎡確保しているか	
運動	放牧場等にて、毎日運動できるか		<ul style="list-style-type: none"> <li>家畜伝染病発生の状況や天候等により行えない場合は除く</li> </ul>
体の状態	酷い外傷等はみられないか		<ul style="list-style-type: none"> <li>外皮に傷、擦りむけ、タコ、出血、化膿がみられないか</li> <li>関節に腫れはみられないか</li> <li>定期的な削蹄の実施により跛行や蹄病はみられないか</li> </ul>
異常行動の発現	群全体の20%以上で、正常行動から逸脱した行動がみられないか		<ul style="list-style-type: none"> <li>犬座、舌遊び、異物なめ、熊癖等はみられないか</li> </ul>
エンリッチメント資材の導入	カウブラシの設置又は定期的なブラッシングを行っているか		
除角	2ヶ月齢以上で実施する場合は、 麻酔の使用等により苦痛を与えない方法で行っているか		
離乳	突然の強制離乳は行っていないか		<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な母子分離を行っているか</li> <li>適切な固形飼料への移行が行われているか</li> <li>離乳後の舌遊び行動が多発していないか</li> </ul>
去勢	2ヶ月齢以上で実施する場合は、 麻酔の使用等により苦痛を与えない方法で行っているか		

# 養豚(アチーブメント基準)

項目	肥育	繁殖	判断基準・備考
飼養面積	1頭(成体40kg以上)あたり1.1㎡以上	1頭あたり3.0㎡以上	
飼育環境	全面でスノコ床を利用していないか スノコ床は脚に負担がない構造か	周産期以外にストール飼いでいないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>脚に外傷はみられないか</li> <li>スノコ床利用の場合、乳頭や蹄等の体の一部が挟まれているか</li> </ul>
運動	パドック等にて、毎日運動できるか		<ul style="list-style-type: none"> <li>家畜伝染病発生の状況や天候等により行えない場合は除く</li> </ul>
体の状態	酷い外傷等は見られないか		<ul style="list-style-type: none"> <li>外皮に傷、擦りむけ、タコ、出血、化膿が見られないか</li> <li>四肢に異常は見られないか</li> </ul>
異常行動の発現	群全体の20%以上で、正常行動から逸脱した行動が見られないか		<ul style="list-style-type: none"> <li>おかじりや偽咀嚼等は見られないか</li> </ul>
行動要求	ルーティングへの行動要求は満たされているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>わら等のエンリッチメント資材が提供されているか</li> </ul>
闘争対策	群編成による闘争対策がなされているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚的バリアの設置や編成前の給餌等を行っているか</li> </ul>
断尾	習慣的な(飼養管理上問題が起きていないにも関わらず)断尾を行っていないか 行う場合は、苦痛のない方法であるか		
歯切り	習慣的な(飼養管理上問題が起きていないにも関わらず)歯切りを行っていないか 行う場合は、24時間以内で先端のみ切除又は研磨としているか		

# 採卵鶏(アチーブメント基準)

項目	基準	判断基準・備考
飼養面積	1羽あたり0.15㎡以上	
飼育環境	鶏が正常に直立できる空間が保たれているか	
体の状態	足を傷つける構造ではないか ・ケージの場合は常時縦横2本以上の線を掴める、傾斜8度以内か ・非ケージの場合は平坦かつ滑りにくく、乾燥した敷料か	・脚に外傷、皮膚炎はみられないか ・羽毛は汚れていないか
運動	放牧場等にて、毎日運動できるか	・家畜伝染病発生の状況や天候等により行えない場合は除く
換羽	絶食絶水による換羽を行っていないか	
異常行動の発現	群全体の20%以上で、正常行動から逸脱した行動がみられないか	・羽つつき等のカニバリズムはみられないか
止まり木	止まり木(15cm以上)は設置しているか	
砂浴び	砂浴び場は設置しているか	
産卵場所	快適性が確保された産卵場所が確保されているか	
羽つつき防止	デビークを行う場合は、生後10日以内で苦痛を与えない方法で行っているか	

## 肉用鶏(アチーブメント基準)

項目	基準	判断基準・備考
飼養面積	10羽あたり3.3㎡以上	
飼育方法	自然光が取り入れられているか	
床の状態	清潔で乾燥しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脚に外傷、皮膚炎はみられないか</li> <li>・砂浴び行動はみられるか</li> </ul>
体の状態	酷い外傷等は見られないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脚弱、皮膚炎等は見られないか</li> </ul>
照度	20ルクス以上の照射がされているか	
暗期	段階的消灯かつ4時間以上の暗期が設けられているか	
異常行動の発現	群全体の20%以上で、正常行動から逸脱した行動が見られないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽つき等のカニバリズムは見られないか</li> </ul>
止まり木	止まり木(15cm以上)は設置しているか	
暑熱対策	環境コントロールが適切に行われているか	
出荷	捕鶏の際にストレスやケガをさせないように行っているか	